

そして日本は今、
「移民問題」で
さらなる危険を
招こうとしている。

たじえは名古屋市で、
朝の通勤途中の女性が、
イスラム法でレイプを
立証することは困難で、
ヨーロッパではすでに
性犯罪が激増している。

「移民問題」を放置すれば、
安心して夜道を
歩けなくなるだろう。

実は世界には、
移民を推進する
金融エリートたちがいる。
たとえば世界最大の投資家
ジョージ・ソロスは、
こう述べた。

国境は
邪魔であり、
撤廃すべきだ。

この人物は、
埼玉県川口市の
クルド人問題でも、
NGO『ジャニッヂ』
の援助を通して
移民を擁護している。

先の大戦に敗れて以来、
実は日本は金融エリートたちの
金融的植民地であり、
そして今、

移民によつて、
滅びの危機を
迎えているのだ。



漫画
正解

真相を
からかう
開く

ジ・ジャーナズ
YOKUNI Hotsund

日本記

目に見えない世界で起きている

光と闇の戦い

東京は、
電話が盗聴され、
スパイが銃を撃ち合ひ、
電車に乗る時には
必ず自分の背後を
確認する必要がある
危険な街である。

これがジャーナズの
マーク。左側の本が
『雨の唄』という小説で、
この話の主人公が目撃。右側は
日本人の父アメリア夫人の
母を持つ日系アメリカ人で、
 CIA全員であり、
そして暗殺者だ。

東京は、危険な街。

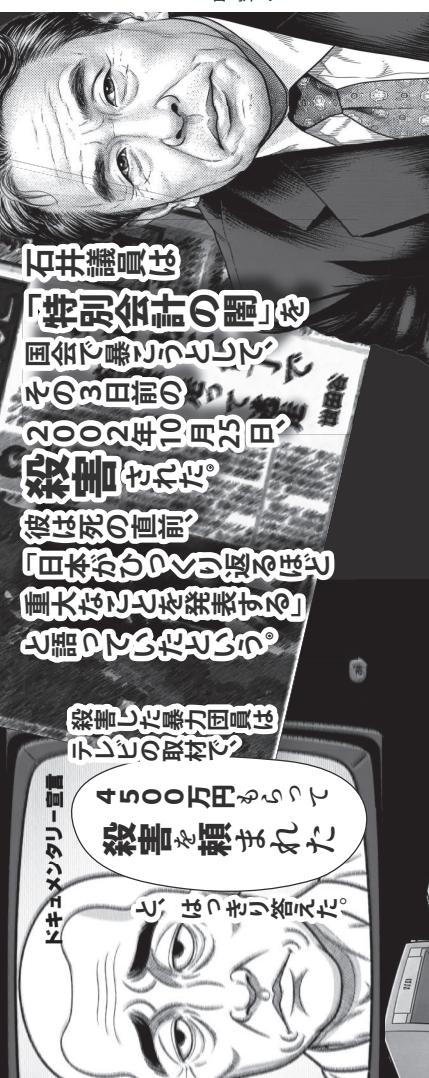
これは眞実である。

正解





谷 折り



3